

# 認知症の人の感情の起伏が激しくなる原因を知ろう。



連載 第四五回

## 自分らしく暮らす 認知症と私

今回はNさん（福山市、50代、男性）の介護体験記の4回目です。60代で体調を崩されたNさんの両親は、70代後半で認知症が進んだ父親は、ショートステイと自宅を行ったり来たりする日々でした。

### 体験談

私は平日の昼間は勤務なので、自宅にいる間は両親だけで過ごしていました。次第に感情の起伏が激しくなった父。ある日、刃物を持ち出してしまったのです。母に向けたわけではありませんが、ケアマネジャーのアドバイスもあり、精神科入院しました。

しまいました。

### 辰川先生からのコメント

Nさんのお父様はデイサービスの利用拒否が強く、自宅での生活を続けるうちに、感情の起伏が激しくなり攻撃性も出現して家族での対応が困難な事態に直面されました。

認知症の介護において対応が難しいといわれる「認知症の人の怒りや暴力」についてお話しします。「その人らしさ」とは、その人が持つて生まれた性格に人生で得られた知識や経験などが加わって、形作られていきます。



す。認知症の人が、周囲の言葉や態度に反応しやすく、怒りをあらわにするのは、このように感情の占める割合が大きいからといえます。

脳には様々な役割があり、認知症によって大脳の前頭葉が委縮すると、感情を抑える、冷静に行動する、自身の行動の先を予測する、などが障害されます。そのため、ささいな出来事がかきつけになり急に怒りだすことがあります。

レートしてしまいます。

Nさんのお父様は、がんの闘病中でもあり、奥様も意欲や認知機能の低下があったため、お父様の身体不調や苦痛・不安が解消されず、感情が高ぶって攻撃的な行動につながったのではないのでしょうか？

認知症の人の理解できにくい感情の波を気持ちで受け止めようとすると、飲み込まれてしまいますから、対応する人が落ち着くことが第一です。ご本人の体調に変化がないか、環境はどうか、周りの人の関わり方に変化はないか、などチェックしてみましよう。

50~80代・シニアに役立つ情報誌

**ぐらんぷあま** 6月号

みんなの不安を解消!  
医療・健康情報を誌面で提供中。

ひんまるとぐらんぷあまは福山市医師会と同じ  
市内医療機関にて無料配布しています。

皆様に信頼いただけるよう、  
ふれあう心でお役に立ちます。

**トラストローン**  
女性スタッフが丁寧に対応します。

ご利用は計画的に。使わずに、借らずに、ご注意ください。

ご融資金額  
**1万円~50万円**  
(他社借入金計含む年収の1/3以内)

●お利息/実質年率15.00%~20.00% ●ご返済方式/元利定額リボルビング方式 ●ご返済期間/回数/最長5年(1~60回) ●遅延損害金/実質年率20.00%以内 ●担保・保証人/原則として不要 ●必要書類/運転免許証・健康(国民)保険証 ●要審査 ●ご利用対象者/20歳以上で安定した収入のある方

もみじファイナンス  
もみじ商事株式会社 TEL.084-944-7700

〒720-0065 福山市東桜町2-7(インビル2F)  
■営業時間/午前9時~午後6時 ■休日/土曜・日曜・祝日  
登録番号/広島県知事(5)第02698号 日本貸金業協会会員 第005225号

※ご相談は上記金融会社に直接お問い合わせください。